

飛驒市美術館

2021-2022 ご案内

回覧



沖野清 上:《高原川河畔》(1969) 下:《春めく土手》(2009)

■開館時間 9:00-17:00(入館は16:30まで)

■入館料 展覧会によって異なります。
(高校生以下無料、障がい者手帳の交付を受けている方と20名以上の団体は割引)

■休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)、展示準備期間、年末年始

■アクセス

- ・JRにて、高山本線「飛驒古川駅」下車、跨線橋を渡り徒歩5分。
- ・お車でお越しの場合は、市営若宮駐車場をご利用ください。
- ・富山よりJR高山本線・特急で約1時間15分。
- ・名古屋よりJR高山本線・特急で約3時間。
- ・東海北陸自動車道、清見ICより卯の花街道を通り約30分。



飛驒市美術館

〒509-4221 岐阜県飛驒市古川町若宮2-1-58
TEL 0577-73-3288 FAX 0577-73-5003

飛驒市美術館



展覧会のご案内

2021.4.17(土)~2021.6.6(日)



沖野清《野麦・帰郷》(高山市蔵,1986)

飛驒を描き続けた、清冽の画家 沖野清展

旧吉城郡船津町朝浦に生まれた沖野清(昭和3年~平成28年)は、飛驒の小中学校における木版画の指導者として活躍する一方、昭和20年代の初期から、岐阜県展、新制作展等に精力的に油彩画を出品し続けました。ていねいな筆致、冷涼で厳しさのある色彩等、沖野清特有の清冽な世界を紹介します。

2021.7.3(土)~2021.8.22(日)



山と生きるひだびと

かつて飛驒地域の人々(ひだびと)の生活にずっと身近であった山。その関わりについて注目する展覧会です。飛驒市で保管する国指定重要有形民俗文化財「飛驒の山樵及び木工用具」を展示し、過酷な環境でも、山で生きる知恵を活用し力強く生きるひだびとの姿を紹介します。

2021.10.16(土)~2021.11.14(日)



熊崎勝利《午後》(2011)

光と影が織りなす日本画二人展

岐阜県出身の日本画家二人に着目した展覧会。日展作家、熊崎勝利(下呂市出身)は、現代人の内面を暗示するかのような影を主題にし、描き続けています。一方、院展作家、岡部巖(高山市出身)は、淡い光の溢れる風景を描き続けています。光と影が織りなす二人の日本画の世界をご堪能ください。

2021.12.4(土)~2022.1.23(日)



美しの紙展

和傘・ピアス・ステーションナリーなど、和紙のプロダクトを通して、和紙を感じる企画展。おしゃべりも撮影もでき、見て・触って・体験しながら楽しめます。飛驒の山中和紙、美濃の美濃和紙など、手漉き・機械漉きそれぞれの工法を交えて紹介します。期間中には、市内にポップアップショップも。

その他展覧会

■文化の薫り展 2021.8.28(土)~2021.9.2(木) 予定

主催 飛驒市文化協会

■第17回飛驒市美術展 2021.9.19(日)~2021.10.3(日) 予定

主催 飛驒市、飛驒市教育委員会

■美術教室発表展 2022.2.11(金)~2022.2.20(日)

主催 飛驒市教育委員会 場所 飛驒市美術館内 研修室

■飛驒市小中学校図工美術展 2022.2.11(金)~2022.2.20(日)

主催 飛驒市教育研究所

■MoMCA サテライトミュージアム 2022.2.5(土)~2022.3.13(日)

主催 岐阜県現代陶芸美術館 飛驒市教育委員会

場所 飛驒市美術館内 特別展示室

※展覧会の日程等は変更する場合があります。最新情報はHPをご覧ください。